

# 令和元年度事業報告書

## 1. 概況

日本経済は、雇用・所得環境の改善が進む中で、緩やかな回復基調が続いています。しかし、人口減少、少子高齢化社会の進展がもたらす労働力人口の減少によって我が国の生産活動や経済活動にもたらされる影響が懸念され、その対策が急がれる状況となっています。

総務省が、令和2年4月14日に発表した令和元年10月1日現在の「人口推計」では、外国人を含む総人口が前年より27万6千人減の1億2,616万7千人となり、9年連続の減少となりました。

中でも15歳から64歳の“生産年齢人口”は、7,507万2千人で、前年に比べ37万9千人の減少となり、人口全体に占める割合が59.5%となり、統計で比較可能な過去最低の数値となりました。

また、65歳以上の人口は、3,588万5千人で、人口に占める割合は過去最高の28.4%で、うち75歳以上の人口は、1,849万人で、前年に比べ51万5千人の増加となり、割合は14.7%で過去最高となりました。

東京都や愛知県など7都県で人口が増加したのに対し、大阪府や秋田県など全国40道府県の人口は減少し、少子高齢化現象が鮮明となったと報じられています。

本町は、農・漁業及び観光業が盛んで、“定年”のない業種の担い手となっている方が多くみられるため、会員の働く場が限られています。特に、公共施設の管理業務は多くの会員が望んでいるところであります。

近年、急速な人口流出などによる人口減少のため、60歳以上の人口比率が昨年度44.4%から0.9ポイント上昇し、45.3%となり、地域の担い手としてこれまでに培った高年齢者の知識と経験を活かすことが期待されている方の会員加入は、昨年度より1人（男1人、女0人）増加し、143人（男100人、女43人）となりました。

また、経常収益は、前年度比355万円増収の61,909,621円で、主な増収科目は受託事業収益338万円となりました。経常費用では、前年度比493万円増額の63,767,926円で、主な増額科目は支払配分金243万円、支払材料費等47万円、給料手当65万円及び消耗品費42万円の増額でありました。

地域からシルバー人材センターへの期待が一層高まるよう会員一人一人の活動やボランティア活動を通して、その役割と活動を広く町民の皆様方に理解していただけるよう、会員と役員が一丸となり、活力ある地域社会づくりに貢献できるセンターを目標に事業を推進して参りました。

### (1) シルバー人材センター事業

#### ① 就業受注事業

就業を希望する就業の機会を確保し提供しました。また、家事支援事業は、高齢者世帯などの日常生活の応援を、今後も支援して参ります。

- ② 各種研修会・講習会、職群班研修事業  
センター事業を円滑に実施するため、役員及び会員を対象とした各種研修会などに参加し、意識と能力の向上に努めました。
- ③ 安全・適正就業対策事業  
事業の実施に当たり、会員の安全かつ適正な就業を行うため、安全意識の向上、作業中の事故防止、就業形態の適正化を図るため、安全委員会を開催し協議しました。
- ④ 普及啓発事業  
会報誌である“シルバー通信”を年2回発行し、会員及び各種団体等に広く周知し、新規加入会員を募るとともに仕事の受注に努めました。
- ⑤ 調査研究事業  
シルバー人材センター事業の発展と会員の能力向上のため、バスの中での会員研修を始め、独自事業を積極的に進める先進地である滋賀県甲賀市シルバー人材センターでの「剪定枝葉チップリサイクル事業」等の視察研修及び信楽町での陶芸体験や窯元巡りなど、会員等33名の参加により、充実した研修と会員相互の親睦を図ることができました。

## (2) 実施報告

- ① 運営体制の整備と強化  
会員主体のセンター運営を目指しました。
- ② 会員の自主運営体制の強化  
会員自身が、センター事業の基本的な理念及び仕事の仕組みを理解し、事業に取り組む体制づくりを継続して参りました。
- ③ 会員の加入促進  
会員募集の拡充及び普及啓発を継続して行って参りました。
- ④ 就業機会確保普及啓発の推進  
センターホームページを始め、“シルバー通信”の年2回発行と啓発用チラシ等を作成・配布し、積極的な情報の発信と普及啓発に努めました。
- ⑤ 安全就業・適正就業  
会員の就業中及び就業途上の事故防止を図るため、安全委員会を開催し、安全就業対策の一層の向上に努めました。
- ⑥ 会員の意識改革  
シルバー人材センター事業が、地域住民の皆様方から認められるよう、ボランティア活動に会員20名（男性16名、女性4名）が参加し、南知多JA会館付近の草刈及び剪定などを実施しました。
- ⑦ 職業紹介事業の推進  
県連合会と連携し、臨時的かつ短期的又は軽易な業務について、職業紹介事業を実施しました。
- ⑧ 公益社団法人としての適正な運営  
公益社団法人として、適正な法人運営に努めて参りました。

⑨ 会員表彰（定時総会表彰）

会員就業規約に基づき会員を表彰

第10条第1号該当 表彰状（10年連続就業） 3名

⑩ 会員研修会の参加

知多ブロック会員交流会（知多市） 4名

知多ブロック会員講習会（武豊町） 4名

ミニ門松づくり講習会（南知多町） 24名

新任会員理事研修会（名古屋市） 1名